



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社イオレ 上場取引所 東  
コード番号 2334 URL <https://www.eole.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)富塚 優  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)貞方 渉 (TEL) 050(1802)7135  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,817	7.1	41	△23.9	43	△19.3	36	△0.5
2023年3月期	3,564	70.8	55	—	54	—	36	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	13.86	13.64	4.9	3.1	1.1
2023年3月期	15.04	14.91	6.5	4.9	1.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,336	803	59.8	301.93
2023年3月期	1,449	691	47.4	265.12

(参考) 自己資本 2024年3月期 799百万円 2023年3月期 686百万円

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	94	△340	45	257
2023年3月期	125	△273	213	457

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,000	4.8	42	0.1	42	△3.9	56	52.9	21.14

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	2,648,992株	2023年3月期	2,592,059株
② 期末自己株式数	2024年3月期	859株	2023年3月期	819株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	2,642,680株	2023年3月期	2,446,626株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年5月22日に機関投資家およびアナリスト向けのWeb決算説明会を開催する予定であり、当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、個人消費の回復やインバウンド需要の増加が見られるなど、経済活動の正常化が進みました。一方で、中東やウクライナにおける紛争の長期化、中国経済の低迷、常態化する円安などの影響でエネルギー価格の高騰や物価上昇が続くなど依然として先行き不透明な状況は継続しております。

当社が属するインターネット広告市場においては、経済産業省の特定サービス産業動態統計調査（2024年2月分確報）によると、2024年2月のインターネット広告の売上高合計は123,301百万円（前年同月比1.60%増）と引き続き回復傾向となってきましたが、当社が注力してまいりましたインターネットを活用した求人広告市場につきましては、2024年3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.28倍（厚生労働省「一般職業紹介状況（2024年3月分）について」）で直近では微増で推移しており、前年同月比で増加し、回復基調となっているものの更なる回復が望まれます。

このような事業環境の下、『コミュニケーションデータ事業』は、当社の優位性の一つであるデータとテクノロジーを組み合わせることで収益を上げていく事業として、『らくらく連絡網』、『らくらくアルバイト』（2024年3月でサービス終了）、『pinpoint』及び『他媒体広告』を含めており、当事業年度は代理店戦略の強化やアライアンスの推進を行い、データの拡充と有効活用を図ってまいりました。

また、『HRデータ事業』は、顧客が求人業界であり、当社が培ってきた求人広告分野におけるノウハウとテクノロジーを組み合わせた事業として、『求人検索エンジン』、『HR Ads Platform』及び『ジョブオレ』を含めており、当事業年度は『HR Ads Platform』を重視し、新規求人メディア連携やATS連携の強化を図ってまいりました。

その結果、『らくらく連絡網』の2024年3月末時点の会員数は700万人（前年同期比0.2%増）、アプリ会員数は309万人（前年同期比7.7%増）、有効団体数は38万団体（前年同期比0.1%減）、『ジョブオレ』の2024年3月末時点の求人原稿数は604千件（前年同期比79.9%増）となっております。

以上の結果、当事業年度の売上高は3,817,836千円（前年同期比7.1%増）、営業利益は41,944千円（前年同期比23.9%減）、経常利益は43,713千円（前年同期比19.3%減）、当期純利益は36,623千円（前年同期比0.5%減）となりました。

なお、当社は、インターネットメディア関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

また、当事業年度の販売実績を示すと、次のとおりであります。

事業の名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
コミュニケーションデータ事業	802,737	△15.1
HRデータ事業	2,508,564	+0.6
新規事業	431,916	+716.7
その他	74,618	+5.2
合計	3,817,836	+7.1

(注) 当事業年度より、上述の通り、『コミュニケーションデータ事業』、『HRデータ事業』、『新規事業』及び『その他』としておりますが、前年同期比に関しては、組替えた後の数値にて比較して算出しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて112,335千円(7.8%)減少し、1,336,927千円となりました。これは主として、現預金が199,991千円減少、売掛金が157,874千円減少したことによるものであります。

### (負債)

当事業年度末における負債は、前事業年度末に比べて224,496千円(29.6%)減少し、533,180千円となりました。これは主として、前受金が19,767千円増加したものの、買掛金が197,597千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べて112,161千円(16.2%)増加し、803,746千円となりました。これは主として、資本金が38,028千円増加、資本準備金が38,028千円増加、当期純利益の計上に伴い利益剰余金が36,623千円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ199,991千円減少し、257,583千円(前年同期比43.7%減)となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は94,893千円(前年同期比24.5%減)となりました。これは主に、前受金の増加額19,767千円があったものの、売上債権の減少額157,636千円、仕入債務の減少額197,597千円及び未払金の減少額60,513千円があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は340,428千円(前年同期比24.5%増)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出271,683千円、投資有価証券の取得による支出59,764千円があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は45,544千円(前年同期比78.6%減)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入45,672千円があったことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

2025年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の緩和などにより個人消費の回復やインバウンド需要の増加に向かうと期待しておりますが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による、原材料の価格高騰や材料不足などから起こるインフレーションによる消費マインドの冷え込みリスクなど、経済の先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

2025年3月期は、『コミュニケーションデータ事業』に関しては、『らくらく連絡網』の新機能追加やUI改善により、新規会員獲得に注力し、データの拡充を行い、そのデータを活かしたより効果の高い広告配信を行うことで競争力の強化を図ってまいります。また、中長期的には、新たな収益モデルの確立のために投資を行い、更なる新規事業の創出を目指しております。『HRデータ事業』に関しては、『HR Ads Platform』の新規求人メディア連携やATS連携の強化を図るとともに、人事管理系ツールとの連携や採用BIツールの構築等に、引き続き注力してまいります。『求人検索エンジン』については既存顧客の継続率を高めつつアップセルを強化していくとともに、新規顧客の獲得を積極的に行い、効果の高いサービス提供に取り組んでまいります。新サービスの強化につきましては主にはWeb3事業のNFT販売を中心に売上を拡大しておりますが、「休日いぬ部」のOTA開始や、DEA社との共同取組である「Answer to Earn」のサービス開始、また「ポケカル」において募集型企画旅行の造成、販売を開始するなど、それぞれの事業の拡大に向けて動いています。今期も更なるNFT販売代理強化、またBtoCメディアの集客力強化によって成長戦略を行っていきたいと考えています。

以上の状況を背景に、売上高は4,000,000千円（前年同期比4.8%増）となり、営業利益は42,000千円（前年同期比0.1%増）、経常利益は、42,000千円（前年同期比3.9%減）、当期純利益は56,000千円（前年同期比52.9%増）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本国内を主たる事業の活動地としていること、国内の企業との比較可能性を確保すること及び財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の動向を常に注視し、経営面・財務面への影響などについて調査を継続し、適用及びその時期を検討してまいります。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	457,574	257,583
売掛金	620,959	463,084
前払費用	18,115	36,382
未収消費税等	36,805	—
その他	23,018	8,287
貸倒引当金	△3,731	△648
流動資産合計	1,152,742	764,690
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	12,970	12,970
減価償却累計額	△661	△1,654
減損損失累計額	—	—
建物附属設備（純額）	12,308	11,315
工具、器具及び備品	28,509	35,244
減価償却累計額	△18,987	△22,536
減損損失累計額	△4,220	△4,220
工具、器具及び備品（純額）	5,301	8,487
有形固定資産合計	17,609	19,802
無形固定資産		
ソフトウェア	114,978	233,038
ソフトウェア仮勘定	—	94,631
のれん	144,354	114,414
その他	—	14,997
無形固定資産合計	259,332	457,080
投資その他の資産		
破産更生債権等	5,582	5,819
その他	20,785	95,353
貸倒引当金	△6,789	△5,819
投資その他の資産合計	19,577	95,353
固定資産合計	296,519	572,236
資産合計	1,449,262	1,336,927

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	449,468	251,870
未払金	136,982	80,444
未払費用	7,473	24,259
未払法人税等	9,553	9,723
未払消費税等	—	23,323
前受金	22,129	41,897
預り金	110,442	93,439
その他	21,627	8,221
流動負債合計	757,677	533,180
負債合計	757,677	533,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	877,302	915,331
資本剰余金		
資本準備金	818,929	856,958
資本剰余金合計	818,929	856,958
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,009,122	△972,498
利益剰余金合計	△1,009,122	△972,498
自己株式	△117	△245
株主資本合計	686,992	799,546
新株予約権	4,592	4,200
純資産合計	691,585	803,746
負債純資産合計	1,449,262	1,336,927



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)
売上高	3,564,446	3,817,836
売上原価	2,742,876	2,713,769
売上総利益	821,569	1,104,066
販売費及び一般管理費	766,487	1,062,121
営業利益	55,082	41,944
営業外収益		
受取利息	3	3
雑収入	754	2,857
営業外収益合計	757	2,861
営業外費用		
支払利息	52	—
株式交付費	1,431	1,000
雑損失	171	92
営業外費用合計	1,655	1,092
経常利益	54,184	43,713
特別利益		
固定資産売却益	31	—
特別利益合計	31	—
特別損失		
特別退職金	—	4,800
本社移転費用	15,757	—
特別損失合計	15,757	4,800
税引前当期純利益	38,459	38,913
法人税、住民税及び事業税	1,652	2,290
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,652	2,290
当期純利益	36,806	36,623

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 仕入高	※1	2,402,268	84.6	2,316,366	79.2
II 労務費		105,765	3.7	126,533	4.3
III 経費		329,459	11.6	480,539	16.4
当期総費用		2,837,493	100.0	2,923,435	100.0
期首仕掛品棚卸高		—	—	—	—
合計		2,837,493		2,923,435	
期末仕掛品棚卸高		—		—	
他勘定振替高	※2	94,617		209,665	
当期売上原価		2,742,876		2,713,769	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注費	202,686	291,609
業務委託費	42,908	46,501
減価償却費	3,236	44,648
サーバー使用料	52,843	67,274

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
ソフトウェア仮勘定	94,617	209,665

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	770,742	712,369	712,369	△1,045,929	△1,045,929	△117	437,064	1,418	438,483
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	105,060	105,060	105,060				210,121		210,121
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)	1,499	1,499	1,499				2,999		2,999
当期純利益				36,806	36,806		36,806		36,806
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							—	3,173	3,173
当期変動額合計	106,560	106,560	106,560	36,806	36,806	—	249,928	3,173	253,101
当期末残高	877,302	818,929	818,929	△1,009,122	△1,009,122	△117	686,992	4,592	691,585

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	877,302	818,929	818,929	△1,009,122	△1,009,122	△117	686,992	4,592	691,585
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	23,031	23,031	23,031				46,063		46,063
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)	14,996	14,996	14,996				29,993		29,993
当期純利益				36,623	36,623		36,623		36,623
自己株式の取得						△127	△127		△127
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								△391	△391
当期変動額合計	38,028	38,028	38,028	36,623	36,623	△127	112,553	△391	112,161
当期末残高	915,331	856,958	856,958	△972,498	△972,498	△245	799,546	4,200	803,746

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	38,459	38,913
減価償却費	5,368	49,378
のれん償却額	5,345	29,939
株式報酬費用	3,067	19,838
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,171	△4,052
受取利息	△3	△3
支払利息	52	—
固定資産売却益	△31	—
特別退職金	—	4,800
本社移転費用	15,757	—
売上債権の増減額(△は増加)	△292,409	157,636
前払費用の増減額(△は増加)	△538	△11,234
仕入債務の増減額(△は減少)	265,883	△197,597
未払金の増減額(△は減少)	61,515	△60,513
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,181	60,128
前受金の増減額(△は減少)	2,160	19,767
その他	67,095	△10,459
小計	143,710	96,541
利息の受取額	3	3
利息の支払額	△52	—
本社移転費用の支払額	△15,757	—
法人税等の還付額	0	0
法人税等の支払額	△2,290	△1,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,614	94,893
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,811	△7,558
有形固定資産の売却による収入	31	—
無形固定資産の取得による支出	△94,617	△271,683
投資有価証券の取得による支出	—	△59,764
敷金及び保証金の回収による収入	14,664	—
敷金及び保証金の差入による支出	△18,801	△1,423
事業譲受による支出	△156,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,533	△340,428
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	208,305	45,672
新株予約権の発行による収入	4,990	—
自己株式の取得による支出	—	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,295	45,544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65,376	△199,991
現金及び現金同等物の期首残高	392,198	457,574
現金及び現金同等物の期末残高	457,574	257,583

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、インターネットメディア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関係会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	265.12円	301.93円
1株当たり当期純利益	15.04円	13.86円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	14.91円	13.64円
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	第9回新株予約権 普通株式24,500株 第10回新株予約権 普通株式40,800株 第11回新株予約権 普通株式107,000株	第11回新株予約権 普通株式107,000株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。